

特別委員会

(※各案について、課題や検討項目はあるものの)

- ・ 早期の整備が必要
- ・ 比較案が出されたが、行政サイドとしての考え方・意図を示すべき
- ・ 場所を決定し、その上でさらなる検討を進めるべき

審議会

【答申より】

- ・ 災害時の司令塔機能の強化
- ・ デジタル化、オンライン化などICTの活用
- ・ 市民サービスの向上
- ・ 経済的、環境に配慮
- ・ 市民が親しみやすい庁舎

推進本部会議

答申の内容を踏まえつつ、
危機管理の視点から早期整備は必須。庁内議論が早急に必要

整備にあたっての課題整理

- ・ **耐震性が不足**しており、災害発生に対する対策が早急に必要
- ・ コロナ禍による社会情勢や人々の考え方の**劇的な変化**
 - **ICTの急速な進展**への対応、新しい生活様式・働き方の要請
- ・ 中長期的な社会情勢の変化を見据えることは非常に困難
 - 行政サービス、働き方、庁舎規模など、**将来の予測ができない**
- ・ 多額の事業費が必要となるが、**財政的な見通しは不透明**（国の支援や税金など）

以下項目を総合的に勘案し、「既存耐震プラス増築」の案が適切と考える

整備パターンに対する考え方まとめ

検討項目	考え方	「既存耐震プラス増築案」の考察
早期実現性	<ul style="list-style-type: none">耐震性の不足から早期整備が必要できる限り調整や事業期間を短縮する	<ul style="list-style-type: none">調整事項が少なく、最も早期実現性が高い
安全性	<ul style="list-style-type: none">十分な耐震性能を確保し、市民や職員の安全を守る強固な災害対策拠点を目指す	<ul style="list-style-type: none">増築棟はⅠ類相当を確保し、災害対策拠点として、危機管理機能、サーバー室を配置。既存棟はⅡ類相当とし、人命の安全確保、十分な機能確保を図る
将来性	<ul style="list-style-type: none">将来的な働き方、ICT化の進展を鑑み、柔軟性と可変性を兼ね備えた庁舎を検討する	<ul style="list-style-type: none">各棟の次期更新時に、ダウンサイジングの検討が可能既存棟は耐震に影響のない壁は取り払い、出来る限りレイアウトの自由度を確保する
機能性	<ul style="list-style-type: none">市民サービスの向上と職員の効率的な働き方を推進するため、ICTを積極的に活用する建物の整備にとどまらず、市民に寄り添った仕事の進め方を合わせて検討する	<ul style="list-style-type: none">ワンストップ窓口や相談機能を増築棟に設置するなど市民サービスの向上を図る
経済性	<ul style="list-style-type: none">コロナ禍により、長期的な財政状況は見通し不明。できる限りコストの抑制を図る。	<ul style="list-style-type: none">既存ストックを再利用することで、最もコストの抑制が可能ダウンサイジングの検討により、将来的な維持管理費用の抑制も可能
環境影響	<ul style="list-style-type: none">SDGsの考え方を取り入れ、環境負荷の低減を目指す	<ul style="list-style-type: none">既存のストックの活用による除却時の廃棄物の減少